

専門ゼミB		演習	教授 小関 広洋	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目	科目ナンバリング	21300302	

1. テーマ

「業界研究と企業分析」…業界研究と企業分析の基礎と応用力を身につける。

2. ゼミのねらい・概要

企業を理解し評価するためには、さまざまな観点から分析・考察を行う必要がある。その基本的な手法として、①業界構造の分析、②企業の財務分析、③経営戦略を含む総合的な企業評価と企業価値の算定、などの基礎知識を身につけ、ケーススタディーを通じて実際に応用する力を養うことが本ゼミのねらいである。就職活動における企業研究、社会人として必要な業務知識、投資に役立つ知識や考え方など、さまざまな場面で活用するための基礎づくりを目標とする。ゼミでは、グループディスカッション、プレゼンテーション、論文作成などについて、実践を通じたスキル向上も図る。

3. ゼミ計画

ゼミ計画は概ね以下のとおりとし、ゼミメンバーの問題意識や関心・興味等を見極めながら適宜調整を図る。

1. 後期のガイダンス	9. グループワーク（企業調査）
2. 業界研究とディスカッション（製造業）	10. グループ研究発表（企業調査）
3. 業界研究とディスカッション（小売業）	11. グループワーク（起業）
4. 業界研究とディスカッション（金融業）	12. グループワーク（起業）
5. グループワーク（業界調査）	13. グループ研究発表（起業）
6. グループワーク（業界調査）	14. 個人研究のテーマ検討
7. グループ研究発表（業界調査）	15. 研究成果の振り返りと今後の課題の整理
8. グループワーク（企業調査）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

①講義のテーマについて、文献やインターネット等を活用して情報収集し、ディスカッションに積極的に参加できるよう準備する、②他のグループや個人の研究分野についても情報収集を行い、ディスカッションや討論に積極的に参加できるように準備する、③グループ・ワークで各自が担当する分野について情報収集と分析を行い、研究発表に貢献できるように準備する、などの学修が必要である。なお、①と②には週2時間以上、③についてはメンバーとの議論を含め、より長い時間をあてる必要がある。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

グループ研究発表・個人発表およびディスカッションの内容について、その都度アドバイスする。また、研究発表については個別に講評（内容の評価、残された課題や今後進むべき方向性などをコメント）する。

6. ゼミにおける学修の到達目標

企業分析の基本を習得し、プレゼンテーションやディスカッションのスキルを磨く。4年次の卒業研究をまとめる土台作りと同時に、就職活動などにも役立つ。

7. 成績評価の方法・基準

グループワークやディスカッションを通じたゼミへの取り組み姿勢と貢献度（50%）、研究発表・研究レポートの評点（50%）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

研究テーマに必要な文献などを個別に指示する。

9. 受講上の留意事項

企業情報の収集や分析に興味を持ち、ゼミに積極的に参加していく姿勢が重要である。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本ゼミは、金融機関・信用格付会社・投資信託会社における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。